

平成30年度 第5次総合計画施策評価シート【年度末用】

担当部署	都市整備課	総務課	
------	-------	-----	--

基本目標	3 みんなで“守る”～思いやりのある安全・安心なまちづくり～
施策	14 住環境

事業の内容	具体的な事業結果	事業の実効性※1	事業の達成度※2
1 計画的な土地利用と良好な市街地形成	(都市整備課) 都市マスタープランに基づき計画的な土地利用推進に向け準備をおこなった。 扶桑町宅地開発事業等に関する事前協議により適切な土地利用を図った。	B	B
2 空き家対策と有効活用	(総務課) 空家等対策協議会を設置し、空家等対策計画について協議を行い、パブリックコメントを経て、平成31年3月に計画を策定した。	A	A
3 人にやさしい街づくり	(都市整備課) 公共施設のバリアフリー化、民間施設のバリアフリー化誘導、ソフト面でのバリアフリー化を広報紙にて周知を図った。	A	A
4			
5			
6			

めざそう値・指標名	指標の定義	基準値(H28)	実績値				
		目標値(H34)	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
1 公共施設のバリアフリー化数	公共施設のバリアフリー化対象施設及び設備(520か所)のうち、バリアフリー化が済んだ数(か所)	312	318				
		317	○				
2							
3							
4							

評価を踏まえた来年度以降の課題
1) 現在、高雄東部の「まちづくり創生ゾーン」において、土地区画整理組合設立を目指し準備を進めており、引き続き計画的な土地利用推進に向けた事業を行う。 また、扶桑町宅地開発事業等に関する事前協議により、適切な土地利用を引き続き図っていく。 2) 空家の適正管理の促進・啓発や利活用の推進など、計画に基づく空家対策を実施していく。 3) 複数の保育園にてトイレの洋式化を行ったことにより、目標値に達した。設置及び整備数については、限られた予算の中での実施であるため、今後は目標値をどのように設定するかが課題である。

評価を踏まえた来年度以降の改善策
1) 計画や要綱を遵守の上、事業等を進めていく。 2) 空家の適正管理については、ホームページやチラシなどによる啓発を行っていく。関係団体と連携し、空家バンクの創設や相談窓口の開設を進めていく。特定空家の認定や措置について研究し、空家等対策協議会において基準等について協議していく。 3) 施設及びソフト面のバリアフリー化への理解を得るよう、引き続き、周知、指導を中心に行っていくと共に、今後の目標設定について状況を把握しつつ考慮する。

※1 事業の実効性  
 A・・・適切(100%) B・・・おおむね適切(60%)  
 C・・・やや不適切(30%) D・・・要改善(0%)

※2 事業の達成度  
 A・・・達成(100%) B・・・おおむね達成(60%)  
 C・・・一部達成(30%) D・・・未達成(10%)